

善功企 理事長(ジオセーフ) 逝去のお知らせ

特定非営利活動法人研究機構ジオセーフの善 功企理事長が令和8年1月29日逝去されました。77歳でした。前向き、元気な善 功企さんの姿しか知らない私たちにとって突然の訃報となり残念でなりません。ご冥福をお祈りいたします。

善 功企さんは昭和45年九州大学工学部水工土木学科を卒業後、運輸省港湾技術研究所、財団法人臨海開発研究センター等での研究及び国際業務のキャリアを積み、平成10年には九州大学の教授に就任、防災地盤の研究と教育に多くの功績を残されました。

平成24年退官後は専門の防災地盤工学を通して社会に貢献するため仲間を募って、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフを設立され(平成 24 年 12 月)、同時に理事長に就任されました。発足以来今日に至るまでジオセーフの活動をけん引していただきました。善 功企理事長は当法人の活動だけではなく、防災地盤の専門家として広く港湾空港の技術課題解決のため多くの委員会でも尽力されていました。

直近の活動を報告します。善 理事長は就任すると直ちに研究発表と研究交流の場を設けるために、九州大学、九州地方整備局等とともに「海域港湾空港技術報告会」に立ち上げられました。その報告会も今年で第 13 回となりましたが、報告会(令和 8 年 2 月 27 日)の直前の逝去となってしまいました。ただ、ジオセーフ講演会(令和 7 年 12 月 16 日)とその反省会はいつもどおりに善 功企理事長の出席と講評を得て、盛会のうちに終わりました。また、年末はゴルフ仲間と反省会兼忘年会で楽しいお酒を酌み交わしていました。

当法人は善 功企理事長の生前のご指導に感謝するとともに、その強い意志を継承するため、笠間清伸九州大学教授を新理事長に推挙し、ジオセーフの活動に邁進いたします。皆様の変わらぬご厚情をお願いする次第です。

令和 8 年 3 月 11 日

文責 特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ 監事 江頭和彦